

## 平成 27 年度日本粘土学会総会議事録

日 時：平成 27 年 9 月 4 日（金）11:00～12:00

場 所：山口大学理学部第 14 講義室

会の成立報告（篠原）：出席者 64 名、委任状 43 名で正会員 1/10 以上の参加が報告された。

1. 開会の辞（八田）：総会の開会が宣言された。
2. 議長選出：久保博会員が選出された。
3. 会長挨拶（黒田）：黒田会長から開会の挨拶がなされた。
4. 報告事項
  - (1) 常務委員会報告
    - ①編集(粘土科学)（鈴木（正））：第 53 巻 2 号以降の発行状況が報告された。
    - ②編集(Clay Science)（高木）：Vol. 18、No. 3 から Vol. 19、No. 3 までの発行・編集状況が報告された。
    - ③国際協力（佐藤）：Euroclay2015 への日本からの参加者数、AIPEA への日本粘土学会年次報告内容、2016 年に開催される関連国際会議、第 3 回 Asian Clay（中国広州）の開催日程（2016 年 11 月 18 日～20 日）に関して報告された。
    - ④行事（川俣）：第 59 回粘土科学討論会の参加登録者数（143 名）と、懇親会及び見学会参加者数が報告された。
    - ⑤企画(標準試料)（宮脇）：依頼状況が報告された。
    - ⑥企画(ホームページ)（岡田）：特になし。
    - ⑦庶務(会員動向)（篠原）：会員動向が報告された。
  - (2) その他
    - ①研究グループ報告：「粘土鉱物を利用したナノ機能材料研究グループ」（宮元）、「粘土科学若手の会（鈴木（康））」の平成 27 年度活動報告がなされた。
    - ②次年度開催予定（和田）：第 60 回粘土科学討論会を九州大学で開催する旨と、開催期間案が報告された。
5. 審議事項
  - (1) 平成 27 年度会計決算（志々目）：収入・支出の明細が報告され、承認された。
  - (2) 平成 27 年度会計監査報告（高橋）：会計監査役より会計処理に問題ないことが報告された。
  - (3) 法人化について（八田）：法人化の理由説明がなされ、事前にホームページで会員周知した法人定款及び規定案（別紙）について、法人化に伴う現行会則及び規約からの変更点と、所属部門の名称の変更点を中心に説明が行われた。定款及び規定と平成 27 年 10 月 1 日からの一般社団法人化について提案どおり承認された。
  - (4) 平成 28 年度会計予算（志々目）：次年度会計予算の収入及び支出の明細が説明され、

法人移行後は全体の予算枠を継続し必要な費目変更を行うことを含め、提案どおり承認された。

(5) 名誉会員の推挙（河野）：渡嘉敷義浩会員、鳥居一雄会員、山岸皓彦会員が名誉会員に推薦され、承認された。

(6) その他：特になし。

6. 表彰（八田・山田・黒田）：各賞の選考経過と結果が報告され、黒田会長による受賞者の表彰が行われた。

学会賞：佐藤 努会員

功績賞：昭和 KDE 株式会社、クミネ工業株式会社、関東ベントナイト鉱業株式会社、株式会社勝光山鉱業所、斐川礦業株式会社

奨励賞：井出裕介会員、佐久間博会員

技術賞：大和田朗会員、佐藤卓見会員、平林恵理会員

論文賞：富永亮会員ほか5名（粘土科学、第53巻(2)、63-67）

南條正巳会員ほか2名（Clay Science, 18, 43-52）

松村大樹会員ほか4名（Clay Science, 18, 99-106）

学術振興基金賞：菊池亮佑会員（Euroclay2015）、櫻井敏樹会員（Pacifichem 2015）

7. 閉会の辞（黒田・議長）

黒田会長より法人化委員会の作業ならびに山口大学実行委員会の討論会運営に対する感謝の辞があり、久保議長より閉会の辞が述べられた。

以上